

志 ～咲き誇れ伝統 我々が残す確かな足跡～

赤穂市立有年中学校生徒会

「いじめ追放への誓い」

今回の劇では、前に「どのようなことがいじめだと思いますか？」というアンケートを行い、その回答を元に脚本を作りました。アンケートの中では、変なあだ名をつける、筆箱にいたずらをする等があり、それらを元に作っていきました。

今回は、いじめがエスカレートしても、最悪の結果にはつながらなかったけれど、現実には、どうなってしまうか分からない。劇を見ていじめの芽がどんどん大きくなっていくことが分かったと思います。このようにいじめは怖いものです。

そして、ロールプレイングでいじめの芽となってしまう日常の難しい対応をしてもらいました。上手な対応から少しうまくいかない対応がありました。とても難しかったと思いますが、日常で普通にある会話だと思います。

いじめの芽を作ることは、簡単ですが、いじめをなくす、つまりいじめの芽を摘み取ることは簡単ではありません。みんなでいじめを追放していきましょう！

＜いじめの芽＞を考えてみた

いじめの芽。放っておけばいじめにつながる芽。早くに摘み取っておけばいじめにならない芽。そんないじめの芽について、皆さんが考えたことをここにまとめました。

ーイスを引くー

イスを引くという行為は、いじめにもつながりますが、大けがにもつながります。大変なことにつながる前に注意の出来る環境を作っていってほしいです。

ーちょっとしたからかいー

ちょっとしたからかいのほかにも悪口、いいあい、陰口やいじりなど口から出るいじめの芽が多く見られました。からかいやいじりはコミュニケーションの一つと思う人も多いと思いますが、少し間違えたらいじめにもつながります。いじりはだめ！とは言いませんが相手の気持ちを考えた行動を心がけましょう。

ー上下関係をつけるー

感想用紙の中には、「人を使う」や「人によって態度を変える」などが多く見られました。これらは、上下関係をつけるというものに含まれると思います。人は生まれもって平等な権利を持っているので、上下関係は存在しません。クラスの中だけでなく、先輩や後輩同士でも広く関係を持って仲良くして欲しいと思います。

感想から見えてくること

—生徒—

- ・些細なことでもいじめは始まる
- ・一人一人の気持ちを考えることでいじめをなくしていけると思います。
- ・「やめて」の一言はとても大切だと思います。
- ・小さいいじめの芽は、大きな結果を招いてしまうので止めていきたいです。
- ・自分たちでいじめをなくしたい。
- ・ちょっとしたことでごめんと言うようにしていきたい。

—保護者— （当日はオープンスクールとして保護者や地域の方も参加して下さいました。）

- ・一人一人が勇気を出して行動を起こさないと変わらないと思います。
- ・私たち大人が、何でも話せる環境をつくり、子どもたちに接していきたい。
- ・親の方も、普段から学校のことを聞いたり、話せる場を作りたい。
- ・黙ってられる方が悲しいし、どんなことがあっても子どもの一番の見方でありたいと思っている。
- ・いじめにつながる小さな芽をみんなで協力して摘んでいくことが出来る集会になったと思います。
- ・私たち、親はいつでも子どもたちのことが心配で、子どもたちのことをいつも考えています。いつも笑って生活してほしいです。

有年中生の「いじめ防止宣言」

- ・傍観者にならず「ダメ！！」と言える強い心を持って注意する。
- ・自分の思ったこと、イヤな気持ちは、はっきり伝える。
- ・悪口は言わない。ノリや冗談も傷つきやすい人がいるので注意する。
- ・相手の気持ちを考えて、自分がされて嫌なこと「いじめの芽」になることは絶対にしない。
- ・周りをもっと見て、困っている人がいたら助ける。
- ・仲間を大切にし、友達と信頼関係を作る。
- ・一人一人に声をかけ、見て見ぬふいをしない。
- ・絶対にいじめに加わりません。自分から困っている人の話や、相談をしっかりと聞き。
- ・逃げずに周りの人に相談する。そして相談できる雰囲気を作る。
- ・イヤな気持ちを広めない。

※ 全校集会後の生徒会通信(手書き)を参考文書として打ち直したものです。